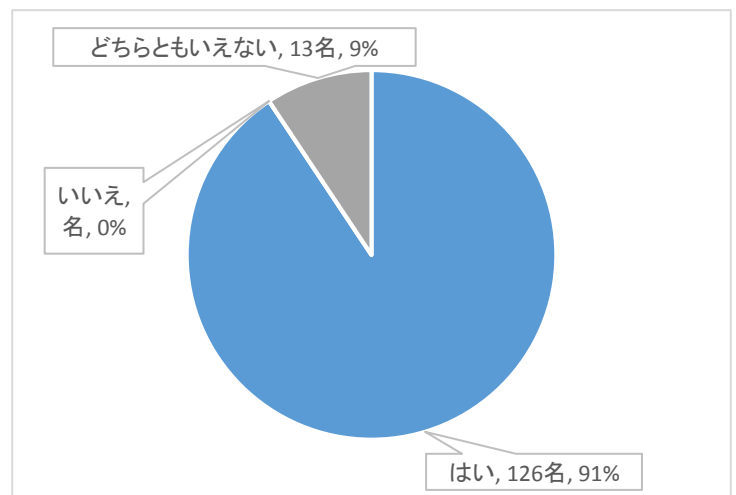


訓練アンケート結果（全体）

・参加者 142 名 ・回答者 139 名

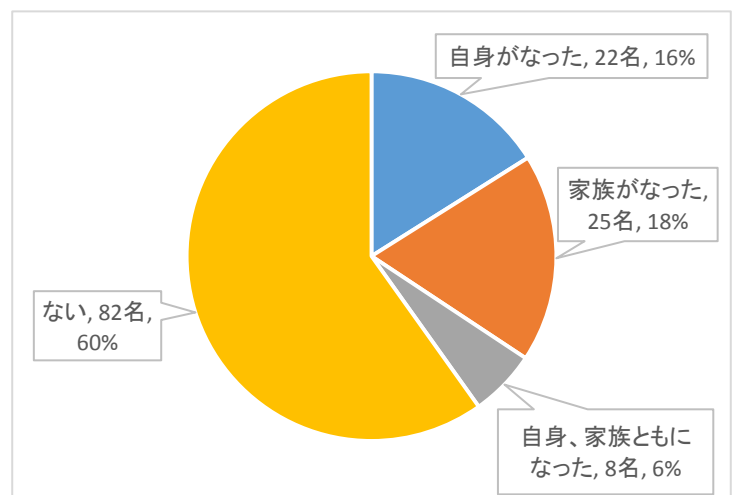
○ 問1 今回の訓練は、帰宅困難者対策として役立つ訓練でありましたか。

回答	人数
はい	126名
いいえ	名
どちらともいえない	13名
合計	139名



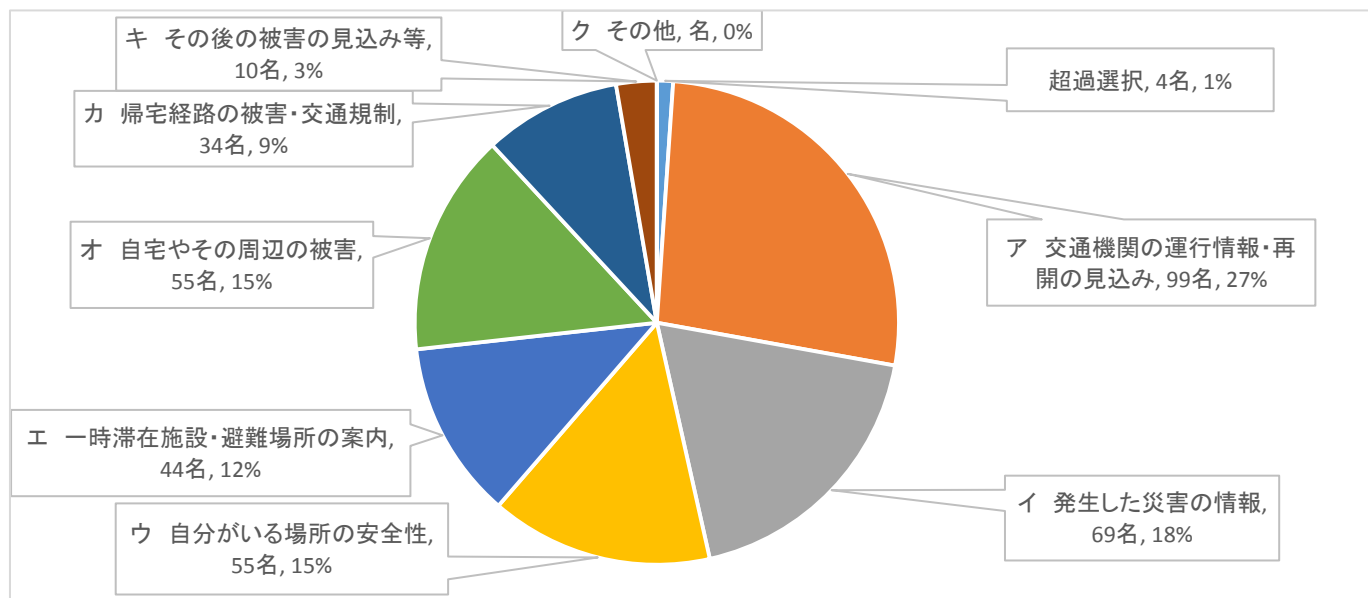
○ 問2 今回の実施した訓練は、帰宅困難者を想定した訓練でしたが、過去の災害で、実際に自身または、家族が帰宅困難者となってしまった事がありますか。

回答	人数
自身になった	22名
家族になった	25名
自身、家族ともになった	8名
ない	82名
合計	137名



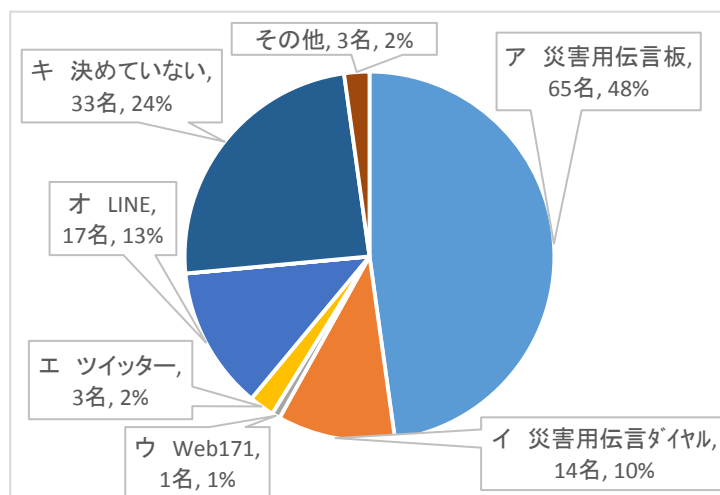
- 問3 駅や大規模な集客施設等にいるときに、帰宅困難者となってしまった場合、どのような情報の提供を望みますか（特に重要だと思うものを三つまでお選びください）。

回答	人数
超過選択	4名
ア 交通機関の運行情報・再開の見込み	99名
イ 発生した災害の情報	69名
ウ 自分がいる場所の安全性	55名
エ 一時滞在施設・避難場所の案内	44名
オ 自宅やその周辺の被害	55名
カ 帰宅経路の被害・交通規制	34名
キ その後の被害の見込み等	10名
ク その他	名
合計	370名



- 問4 災害時に家族の安否確認をどのような方法で行う予定ですか。

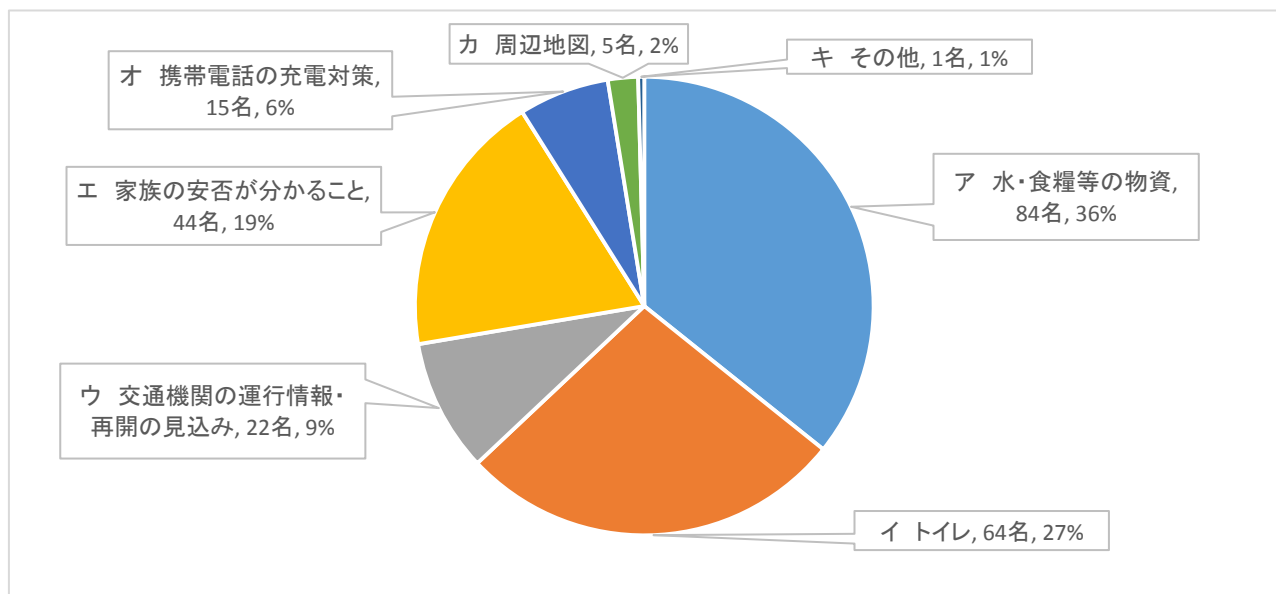
回答	人数
ア 災害用伝言板	65名
イ 災害用伝言ダイヤル	14名
ウ Web171	1名
エ ツイッター	3名
オ LINE	17名
カ Facebook	名
キ 決めていない	33名
その他	3名
合計	36名



※その他(避難所を決めてある・メール・自力帰宅)

- 問5 交通機関が復旧するまで一時滞在施設に滞在するにあたり、どのようなことが重要だと思いますか。（特に重要だと思うものを二つお選びください）。

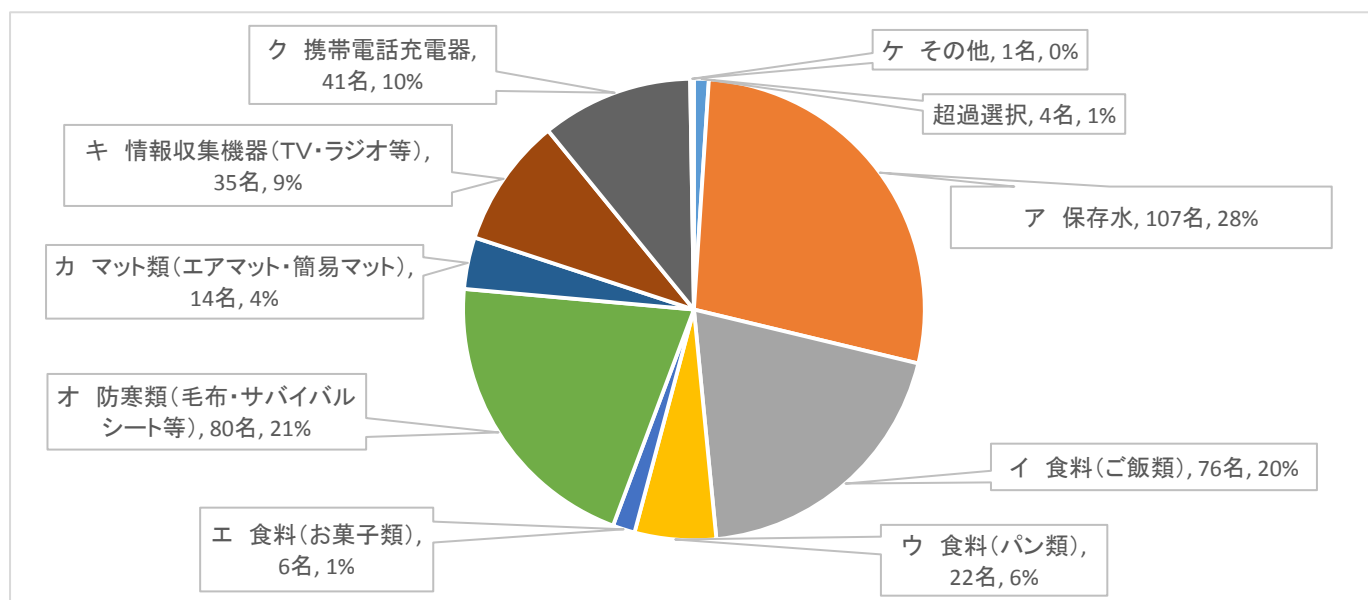
回答	人数
超過選択	14名
ア 水・食糧等の物資	84名
イ トイレ	64名
ウ 交通機関の運行情報・再開の見込み	22名
エ 家族の安否が分かること	44名
オ 携帯電話の充電対策	15名
カ 周辺地図	5名
キ その他	1名
合計	235名



※その他(投石施設が近くにあるか)

- 問6 一時滞在施設に3日間滞在する必要がある場合、施設にどのような備蓄を求めますか。（特に重要だと思うものを三つお選びください）

回答	人数
超過選択	4名
ア 保存水	107名
イ 食料(ご飯類)	76名
ウ 食料(パン類)	22名
エ 食料(お菓子類)	6名
オ 防寒類(毛布・サバイバルシート等)	80名
カ マット類(エアマット・簡易マット)	14名
キ 情報収集機器(TV・ラジオ等)	35名
ク 携帯電話充電器	41名
ケ その他	1名
合計	340名



※その他(水、電気がなくても処理(対応)できるトイレ)

○ 問7 今回の訓練について、お気づきの点やご意見などございましたら、ご記入ください。

- ・ 避難経路中のトイレが心配
- ・ 帰宅困難になってからの流れが理解できた
- ・ 応急手当訓練が参考になった
- ・ 参加してよかった
- ・ 実際に起きてからでは遅いので、こういった訓練は必要
- ・ 役に立つ訓練でした
- ・ 定期的に参加したい
- ・ とても勉強になりました
- ・ いざという時にできるようになればいいなと思います
- ・ 今日の実験を職場で展開していきます
- ・ 心肺蘇生法が思ったより力が必要ということがわかりました
- ・ 三角巾の使用方法がわかりやすかった
- ・ とてもいい経験になりました
- ・ 継続して一人でも多くの方が訓練を受けるべきだと思います
- ・ もう少し気候のよい時期に実施してほしい
- ・ 応急手当訓練など、とても参考になった
- ・ 冬は防寒
- ・ 災害時に手話通訳者がいるとは限らないので、指さし会話のボードなどがあればいいと思う
- ・ 障がい者だとわかるゼッケンなどがあれば対外にわかりやすいと思う
- ・ 難聴者は困っていることが表向きにはわからないので、耳マークなどがあったら助かります
- ・ 要約筆記の方がわかりやすく書いてくれました
- ・ 「手話通訳」のビブスと同様に、「要約筆記」のビブスも必要
- ・ 要約筆記者が交代で書くのでは緊急時は間に合わないので全員に書いてほしい
- ・ 避難移動時は、歩くペースは人それぞれなのでゆっくり歩いてほしい
- ・ 駅での一時滞在施設開設状況を、現在1箇所手配できた、現在3箇所手配できたなど、時間経過を見せた方がよい。同じ説明が続くと不安が高まる
- ・ 施設との協定内容について、発災と同時に施設が受け入れ準備し、受入可能になったら、施設から市対策本部へ連絡する体制がいいと思う。市対策本部から施設への要請を行っている初動に時間がかかりすぎる。
- ・ AEDの女性の場合の位置
- ・ 内容が濃く、とてもよかった
- ・ 夜間の場合の想定は？
- ・ 連携による待ち時間が長かった
- ・ ライフラインに被害が出た場合の訓練も大事だと思った
- ・ 参加することは構わないが、市職員という立場(執務)での参加の意義があまり感じられません
- ・ 講話が参考になった
- ・ 講話内容を簡単に冊子にしたようなものを各課にいただきたい
- ・ 駅での説明がよく聞こえなかった
- ・ 訓練とはいえ、もっとわかりやすくホワイトボードなどで示してもいいと思う
- ・ 外見ではわからない障がい者をどう把握しフォローしていくのか
- ・ 聴覚障がい者には災害情報等が入りにくいので、駅の電子掲示板などで一時滞在施設の情報を示すなど、目に見える情報の伝え方が重要だと考える
- ・ 障がい者の方に手助けをと言われましたが、具体的にどのような手助けを望まれているのかわかりません
- ・ 不特定多数(通勤途中・外出時等)の避難場所(一時を含む)が特定されているのか？
- ・ 企業等に通勤時は問題なしと考えますか？
- ・ 人数が多い時の対策は？
- ・ 講話がわかりやすかった
- ・ 帰宅困難者役には大まかな流れの説明以外いらないと思います
- ・ 3.11を教訓とするのであれば、3月の実施でもいいのでは？
- ・ 鉄道事業者の紹介はいらなかったのですか？

- ・ 帰宅困難者が救助活動妨げの要因となる可能性がある等の説明があったので、この訓練の意図が理解できてよかった
- ・ 訓練参加者以外にもこういった情報周知が必要だと思われる
- ・ 要支援者の誘導について、事前にサポートを決めておくのではなく、その場でその場にいる人に行っていただいた方が、よりリアルな訓練になると思う
- ・ 家族の安否確認方法を決めておこうと思いました
- ・ 災害用伝言板の使い方を確認してみようと思います
- ・ 発災後72時間はむやみに動かないよう職場や家族に伝えようと思います
- ・ この訓練は、市の職員で参加していない人優先で毎年続けていくべきだと思います
- ・ もう少し説明(訓練についての)が少なく、実際の状況に近い体で訓練してもよいのでは
- ・ 市内の帰宅困難者発生想定数の話等があると、よりリアルに感じるかと思う
- ・ 一斉帰宅による、災害時の救助活動への影響などについては、今回の訓練の講話で初めて知りました
- ・ 東日本大震災の時は、自身も帰宅困難者となり、友人宅に泊めてもらうなどしたので、このような仕組みがあると助かります
- ・ 聴覚障害者は、見た目では聞こえないことがわからない方が多くいますので、放送内容や伝達内容を予め掲示物として用意し、いざという時には駅構内のあちこちに張り出せるように準備していただけると助かります。鉄道事業者も用意してある対応がスムーズにできると思います(昨年度も同意見を記載)
- ・ 避難する際、施設の従業員通路を案内されたので最初不安に感じた。事前に説明があるとうれしいです
- ・ 案内はスムーズだったので、実際の災害時もこのように動くことができればよいと思います
- ・ 備蓄しているものが、水や食糧だけではなく、簡易的なクッションや、保温できるものなど種類がたくさんあって安心しました
- ・ 実際には、今回の訓練参加者よりはるかに多い人数が避難することになるので、対応に際して混乱するんだろうと思った
- ・ 72時間は帰宅難民より人命救助が優先されることの意義が学べてよかった
- ・ 訓練の説明がよく聞こえなかった
- ・ 連絡の取り方を家族と話し合おうと思います
- ・ とても寒く、真冬に実施する必要性が感じられないので、実施時期を見直した方がよいと思う
- ・ 実際に電車通勤なので、帰宅困難になることは十分想定されるため、大変参考になりました